

朧夜や習う墨画の匂いあり 圭舟

早いことに、もう総会の季節になりました。それぞれの幹事が責任分担を全うして、今年もなんとか準備万端整いました。新しい墨の匂いがする、圭舟さんの「式次」にもお目にかかれそうです。毎年用意される多種多様のアトラクションも、支部総会の楽しい特色となってきました。今年もモンゴル。

6月の予定

		支 部	みちのく損保
6月	2日(月)	お	ゴルフ 東蔵王
	19日(木)	休	みちのく総会 仙台ホテル
	24日(火)	み	つり大会 大型漁港

随想 「独り」 千葉繁明

外は雨で寒そうである。何時も行くスポーツジムは、今日は休みで、妻は実家に行って留守である。この独りの貴重な時間を、どう過ごそう。マンションのワンルームをアトリエにしてから机に座って作品を創っている時がとても楽しい。真紅の薔薇一輪を頂いたので、この薔薇の美しさを絵に描いてみよう、描き始めた。真紅の花びらがとても美しい。花卉をローズマターの絵の具で一枚一枚塗り重ねて何枚も描いた。好きなことをやっているときは無心である。何枚か描いてから、一休みすることにした。冷蔵庫からビールとつまみを出して飲んだ。昼間からビールなんてとうるさい妻もいないので、鬼のいぬまの幸せをかみ締めたの



である。マンションの外は相変わらず冷たい雨が降り続けている。ソファでうとうととしているうちに妻が帰ってきた。夜は何時ものとおりに一合の酒を飲んでから、暖かいベッドに潜り込んで、赤い薔薇の花に包まれて、いつの間にか眠ってしまった。私の貴重な一日はこうして静かに過ぎて行ったのである。(2008. 4. 10)

海老原さんのご遺族から、記念誌「振り返って見れば」の“盛岡の思い出”の文中2行目、S45年はS25年(1950年)の誤りです、とのご丁寧なご指摘がありましたのでお知らせします。記念誌なので、訂正される方があればその方がよろしいのでは、とのご配慮でした。ありがとうございます。

随想「今年の桜」 千葉繁明

大手門から見た、桜の頃の仙台の街並みはとても美しい。その昔、伊達政宗公も見たこの風景を、隅櫓の美しさを加えて描いてみることにした。前にも一枚描いたことがあるが、今年も同じ場所から描いてみよう、道路の真ん中に場所を取った。グリーンベルトの前で安全地帯である。以前描いた時と風景が変わっている事に気がついた。新しいビルと巨大マンションが現れているのである。最近の仙台は、新しいビルが次々と出来るのでうっかりしていれない。

ループバスが客を一杯乗せて通り過ぎていった。

花びらを舞い散らす春風がとても心地よい。

“春風が今年の桜舞い散らし薄紅色の街見下ろして”

“薄墨の今年の春を描きたる画布に舞い散る桜花かな” 繁明

絵を描いた後で、絵画教室の人達と桜が舞い散る博物館の庭でお花見をした。

コップのお酒にひとひら花びらを浮かべて。

趣味が同じ仲間と飲む酒はとても美味しい。そして、語らいの楽しいこと。

貴重な余生、今日も充実した一日であった。

平成20年4月9日

